

1. 製品及び会社情報

製品の名称	: GAT-05、 GAT-10
SDS 整理番号	: GTJP-17-01
供給者の会社名称	: 旭化成アドバンス株式会社
住所	: 〒105-0004 東京都港区新橋六丁目 17 番 21 号 住友不動産御成門駅前ビル
担当部門	: 化成品樹脂部
電話番号	: 03-5404-5045
FAX 番号	: 03-5404-5059
電子メールアドレス	: aka_plastics@om.asahi-kasei.co.jp
緊急連絡先	: 03-5404-5045 化成品樹脂部 (平日昼間のみ)
推奨用途 及び 使用上の制限	: 主に保護カバーシート等。 使用上の制限は第 16 項に記載。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	可燃性固体	: 分類できない
	自然発火性固体	: 区分外
	自然発熱性化学品	: 分類できない
	金属腐食性物質	: 分類できない

上記以外の項目は、分類対象外である。

健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	: 分類できない
	急性毒性 (経皮)	: 分類できない
	急性毒性 (吸入 : 粉塵、ミスト)	: 分類できない
	皮膚腐食性 / 刺激性	: 分類できない
	眼に対する重篤な損傷 / 眼刺激性	: 分類できない
	呼吸器感作性 / 皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 分類できない

	特定標的臓器毒性（単回暴露）	: 分類できない
	特定標的臓器毒性（反復暴露）	: 分類できない
	吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	水生環境－急性毒性	: 分類できない
	水生環境－慢性毒性	: 分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル	: なし
注意喚起語	: なし
危険有害性情報	: なし

注意書き :

【安全対策】

- ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・取扱い後はよく手を洗うこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・作業場では、火気をみだりに使用する事を避け、整理整頓に努める。
- ・シート端部への接触で手などを切創しないよう、取扱い時には軍手等の保護具を着用する。

【応急処置】

- ・欠片や切削くずなどが目に入った場合、清浄な水で洗眼除去する。異常を感じるようであれば医師の手当てを受ける。
- ・飲み込んだ場合、出来るだけ吐き出させ、異常を感じるようであれば医師の手当てを受ける。
- ・応急措置をする者の保護 : 高温の溶融樹脂から発生するガスや溶融物が付着した衣類や保護具を取り除く。救助者が溶融物等に触れないよう手袋を使用するなど注意する。

【保管】

- ・「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

【廃棄】

- ・「13. 廃棄上の注意」を参照。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

- ・目に欠片や切削くずなどが入った場合及び皮膚に対し物理的な刺激がある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物
化学名	: エチレン・ブテン共重合物
化学式	: $-(\text{CH}_2-\text{CH})_n-(\text{CH}_2-\text{CH}_2)_m-$ CH_2CH_3
CAS 番号	: 25087-34-7
濃度	: 99 重量%以上
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	: (6)-18

4. 応急措置

吸入した場合	: 該当せず
皮膚に付着した場合	: 該当せず
眼に入った場合	: 欠片や切削くずなどの場合は清浄な水で洗眼除去する。異常を感じるようであれば医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	: 出来るだけ吐き出させ、異常を感じるようであれば医師の手当てを受ける。
応急措置をする者の保護	: 救助者が溶融物等に触れないよう、手袋を使用するなど注意をする。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水、泡消火薬剤（エアフォーム）、粉末消火薬剤、二酸化炭素等。
使ってはならない消火剤	: 特になし
火災時の特有の危険有害性	: 燃焼ガスには一酸化炭素等が含まれる。不完全燃焼（燻焼）の場合にはこれに加え、有機酸、ホルムアルデヒド、アクロレイン等も発生する。
特有の消火方法	: 消火作業は、可能な限り風上から行う。 移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な処置をする。 初期消火には水、粉末消火薬剤を用いる。大規模火災の場合には、泡消火薬

消火を行う者の保護 : 剤(エアフォーム)等を用いる。
容器周辺が火災の時は、容器に注水して冷却する。
: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 該当せず
環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材 : 漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。
二次災害の防止策 : 火花を発生しない安全な用具を使用する。
付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火の準備をする。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 作業場では、火気をみだりに使用する事を避け、整理整頓に努める。
シート端部への接触で手などを切創しないよう、取扱い時には軍手等の保護具を着用する。

保管

安全な保管条件 : 直射日光、水濡れ、急激な温度変化等を避ける。
貯蔵場所では、みだりに火気を使用しない。
安全な容器包装材料 : 紙袋、紙箱、ダンボール箱など

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 : 該当せず
許容濃度 : 該当せず
設備対策 : 該当せず
保護具
呼吸器の保護具 : 切削加工等により欠片や切削くずが発生する場合は防塵マスク
手の保護具 : 保護手袋（軍手等）

眼の保護具	: 保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 保護服（長袖作業衣）、保護長靴等
衛生対策	: 休憩場所には、手洗い、洗眼等の設備を設け、取扱い後に手、顔等をよく洗う。指定された場所以外では、飲食、喫煙を行ってはならない。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态	: 固体（シート状）
色	: 透明
臭い	: ポリエチレン臭
pH	: 該当せず
融点	: 120-130℃
分解温度【引用文献 1】	: 335-450℃
引火点【引用文献 1】	: 341-357℃
発火点【引用文献 2】	: 400℃（平均粒径； 24 μm） 440℃（平均粒径； 105 μm）
密度	: 930-950 kg/m ³
溶解度	
水	: 不溶
その他の溶媒	: 多くの溶媒に溶けにくい、芳香族炭化水素には比較的溶ける。

10. 安定性及び反応性

安定性	: 一般的な貯蔵、取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	: 自己反応性なし。
避けるべき条件	: 直射日光、水濡れ、急激な温度変化
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 不完全燃焼（燻焼）の場合には一酸化炭素の他、有機酸、ホルムアルデヒド、アクロレイン等も発生する。

11. 有害性情報

急性毒性【引用文献 3】	: ポリエチレンの生体に対する影響をみると、ラットの経口投与による LD ₅₀ 算定が試みられたが、7.95 g/kg 以上の投与は実験操作上困難であり、また投与量 7.95g/kg では、なんら毒性の兆候は見られず、体重増加も正常であり、組織病理学的検査でも異常は認められない。
皮膚腐食性及び刺激性	: 皮膚に対し、物理的な刺激がある。
眼に対する重篤な損傷又は刺激性	: 目に欠片や切削くずなどが入った場合は物理的な刺激がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 知見なし
生殖細胞変異原性	: 知見なし
発がん性	
ポリエチレン	: IARC の発がん性区分でグループ 3（ヒトに対する発がん性については分類できない）に分類されている。
生殖毒性	: 知見なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 知見なし
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	: 知見なし
吸引性呼吸器有害性	: 知見なし

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境－急性毒性	: 知見なし
水生環境－慢性毒性	: 知見なし
残留性／分解性	: 知見なし
生体蓄積性	: 知見なし
土壌中の移動性	: 知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄物は原則として、焼却又は埋立てによって処理する。海洋生物、鳥類が摂取す

ることを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

(1) 焼却する時は、焼却設備を用いて大気汚染防止法等に適合した処理を施し焼却する。

(2) 埋立てる時は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って処理をする。

汚染容器及び包装 : 包装を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国際規制

IMDG (国際海上危険物規則) コード : 危険物に該当せず

IATA-DGR (国際航空運送協会危険物規則) : 危険物に該当せず

国連分類 : 国連勧告の定義上危険物に該当せず

国連番号 : 国連勧告の定義上危険物に該当せず

国内規制

海上規制情報 : 危険物に該当せず

航空規制情報 : 危険物に該当せず

陸上規制情報 : 消防法における指定可燃物に該当するので、同法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。

消防法 : 指定可燃物 (合成樹脂類 (その他のもの) 、3,000kg 以上)

輸送の特定の安全対策及び条件

: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

転倒、落下、破損のないように積み込み、荷くずれ防止を確実にを行う。

火気を避ける。

15. 適用法令

1. 消防法 : 指定可燃物 (合成樹脂類 (その他のもの)) <3,000kg 以上>
2. 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

16. その他の情報

1. 弊社は、医療機器・医療用途の中で、本製品の下記用途への使用は固くお断り致します。
 - * 人体中に埋め込まれて使用される用途（インプラント用途）
 - * 30 日以上連続して、人体（含む血液・体液等）に接触する用途
2. 上記以外の用途については
 - ・法規制、規格・基準、使用制限等への適合性
 - ・用途に応じた要求特性に対する適合性、安全性等を貴社の責任でご検討戴き、使用可否をお決め下さい。
3. 本安全データシート（SDS）中の注意事項は通常の見取り方を対象にしたものです。貴社が特殊な取扱いをされる場合は、用途や使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。
4. 本製品と併せて使用される配合剤、添加剤等がある場合には、それらの安全性は貴社にて調査して下さい。
5. 本製品の製品安全に関する情報が必要な場合には、弊社にお問合せ下さい。
(TEL : 03-5404-5045、FAX : 03-5404-5059)
6. 本 SDS は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成されており、今後新しい知見により改訂されることがあります。
7. 当社は本 SDS の記載内容につき十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

引用文献

- 1) 高分子材料便覧、編者；財団法人高分子学会、発行；コロナ社、昭和 48 年 2 月 20 日初版発行
- 2) 産業安全研究所安全資料
(SAFETY DOCUMENT OF RESEARCH INSTITUTE OF INDUSTRIAL SAFETY RIIS-SD-90-1, 1990)
(労働省産業安全研究所)
- 3) プラスチックス, Vol.26, No.3, P.20